

平成28年度事業報告書

事業概要

平成28年度は、東京都との土地貸付契約の満了に伴いスクワール麴町の建物及び付属設備・什器備品、金額にして9億8,174万6,874円分を東京都に寄附するとともに28年余に亘って運営を続けてきたスクワール麴町事業を一旦終了し、新たに東京消防庁庁舎となった同建物において職員食堂及び多目的室の運営事業を、消防学校において給食事業を、それぞれ始めました。

また、これらの事業内容の変更に伴って組織再編を行い、これまでの4部門8課制から5部7課制に移行しました。

従来から継続している事業につきましては、先ず公益目的支出計画に関するものとして、例年実施しているロードレース大会等の参加者への記念品提供、消防救助技術大会の出場隊員への栄養補給品の提供及び月刊誌「東京消防」をはじめとする防火防災に関する図書の発行等に加えて、熊本地震災害における東京消防庁派遣調査団に対する支援及び東京消防庁航空隊50周年記念事業への協力などを行いました。

同支出計画以外のものとしては、例年どおり都民の生命・身体・財産を守ることを使命とする東京消防庁職員が安心して職務に邁進できるよう、団体保険事業及び慶弔援護事業等を行いました。

また、充実した余暇を過ごして頂くために前年度に引き続きグリーンパル湯河原及び那須山荘の改修等を行いました。

1 東京消防庁が行う諸施策に対する協力事業(定款第4条第1号事業)

(1) 東京消防庁の事業に対する協力

ア 健康体力増進事業に対する協力

中央総合競技大会(10月下旬～12月上旬、駒沢オリンピック公園総合運動場他7会場)、駅伝ロードレース大会(翌29年2月、国営昭和記念公園)、剣道大会(7月、東京武道館)及び所属長が計画する健康体力増進事業の参加者に対して、賞品、参加賞、記念品、スポーツドリンク等を提供しました。

イ 消防技術向上事業に対する協力

- (ア) 消防救助技術大会関東地区指導会(7月、厚木市)及び全国消防救助技術大会(8月、松山市)に参加した救助隊員に対して、T シャツ等の大会用品、補給物品を提供しました。
- (イ) 国際消防救助隊合同訓練(11月、夢の島訓練場・第二消防方面本部訓練場)に訓練用具、補給物品の提供を行いました。
- (ウ) 緊急消防援助隊同関東ブロック合同訓練(10月、宇都宮市他)に訓練用具、補給物品の提供を行いました。

ウ 教養事業に対する協力

- (ア) 職員・家族総合文化展(8月、スクワール麴町)及び消防職員意見発表会庁内選考会(翌29年2月、東京消防庁スクワール麴町 3 階 フリースペース錦華)の参加者に記念品等を提供しました。
- (イ) 資格取得技能講習(年度内3回)、自由研修講座(年度内9回)及びカラーガーズ隊員に対するマーチング指導(翌29年3月)に委託講師、委託指導者の派遣及びテキスト等の提供を行いました。また、退職者説明会(年度内7回)参加者にテキストを提供しました。
- (ウ) 消防学校の学生相談(年度内24回)に女性相談員を派遣するとともに初任教養修了者に記念品を提供しました。
- (エ) 東京消防庁警防部の監修のもと当協会が発行した「大隊長の指揮要領」及び同じく同庁消防学校の監修のもと当協会が発行した「東京消防庁礼式規程解説と実施要領」を教養図書として各所属に配布しました。

(2) 後方支援活動

ア 東京消防庁派遣部隊に対する支援

4月14日・16日に発生した熊本地震災害への東京消防庁派遣調査団に対して補給物品を提供しました。

イ スクワール麴町の一時滞在施設としての備え

- (ア) 東京都帰宅困難者対策条例に基づきスクワール麴町が一時滞在施設として指定されていることから、東京都から配布されている一時滞在者のための支援物資を備蓄スペースにおいて適正な管理を行いました。

- (イ) 5月にAED取扱訓練を行い、8月には自衛消防総合訓練に合わせ、東京都一時滞在施設運営訓練を実施しました。また、普通救命講習再講習該当の職員3名全員が同講習を受講しました。
- (ウ) 自家発電設備の点検を法定の年2回に加えて毎月1回実施するとともに、ろ過装置については9月に麹町消防署と連携し点検、水質検査及び取扱訓練を行いました。

(3) 消防機器等の研究開発及び防災機関が行う行事に対する協力

ア 東京消防庁消防技術安全所が行う研究開発事業に対する協力

各種機器の改良開発、火災鑑定に関する研究、消防隊員の安全管理に関する研究及び木造建物の防火性能に関する研究などに対して、研究用資料及び実験用物品等を提供しました。

イ 東京消防庁が行う行事等に対する協力

- (ア) 東京消防出初式(翌29年1月、東京ビッグサイト)の運営に対して協力しました。
- (イ) 航空隊運航開始50周年記念事業に対して記念品等を提供しました。
- (ウ) カラーガーズ隊発隊30周年記念式に対して記念品等を提供しました。
- (エ) 第29回アジア消防長協会総会の参加者に記念品等を提供しました。

2 防火防災に関する普及啓発事業(同条第2号事業)

(1) 「東京消防」の出版

防火防災に関する出来事、消防関係法令の解説、消防実務及び最新消防機材の紹介等を内容とする月刊誌「東京消防」を東京消防庁監修の下に、12回計268,800部発行し、消防職員、消防関係機関に無償配布し、同庁図書資料室(以下「資料室」という。)等に寄贈するとともに購読希望者に有償配布しました。

なお、28年度からは2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて職員の外国語能力アップの一助となるように、「ワンポイント英会話」を中国語・韓国語併記するとともにスマートフォンで音声を聞くことができるようにしました。

(2) 「ウィークリー東京消防」の発行

東京消防庁、各消防署・消防団・消防少年団等の行事・活動及び通達・通知の概要等の紹介を内容とする週刊「ウィークリー東京消防」を東京消防庁監修の下に、41回計184,500部発行し、消防機関に無償配布するとともに資料室に寄贈しました。

(3) 「会員録」の発行

会員の消防職員としての円滑な業務執行に資するため、都内全消防機関及び消防関係機関の所在、電話番号、所属職員の職・氏名を網羅した「会員録」を21,700部発行し、会員及び消防関係機関に無償配布するとともに資料室に寄贈しました。

(4) 「職員手帳」の発行

会員の消防職員としての円滑な業務執行と協会が提供している各種サービス等の有効活用に資するため、消防統計、地震災害年表、当該年の防災行事、交代制勤務職員の勤務サイクル並びに協会事業概要及び問合せ先等を盛り込んだ「職員手帳」を21,700部発行し、会員に無償配布しました。

3 消防職員等の保健衛生及び技能向上に係る事業(同条第3号事業)

(1) 予防接種等の支援

インフルエンザ等の集団感染型疾病の予防接種等に要した費用の一部を12,777名の消防職員等に支援しました。

(2) 資格取得の支援

職務に必要な資格・技能等の取得に要した費用の一部を320名の消防職員等に支援しました。

なお、平成26年度から防火対象物点検資格者など、退職を間近に控えた職員の再就職と当該職務遂行によって消防行政に資することが期待できる資格を追加支援対象とし、併せて特別会員の加入促進を図ることとしていますが、こちらについては13名に対して支援をしました。

(3) 書籍購入の支援

協会売店及び協会の斡旋で書籍を購入した費用の一部を3,356名の消防職員等に支援しました。

4 会員及び家族の教養・文化等に関する事業(同条第4号事業)

(1) 厚生施設の運営

会員及び家族の健康増進に資するため、厚生施設「スクワール麴町」を11月末まで、「フリースペース錦華(東京消防庁スクワール麴町3階多目的室)」及び「麴町職員食堂(東京消防庁スクワール麴町2階職員食堂)」を翌29年1月初旬から、「消防学校食堂」を翌29年3月から、「グリーンパル湯河原」を通年、並びに「那須山荘」を4月下旬から11月上旬まで運営しました。このうちグリーンパル湯河原については、客室広緑3点セット他更新計画修繕7件及び緊急修繕7件、那須山荘については、全棟カーテン交換及び屋根塗装2棟他4件の改修をそれぞれ行い、快適性を向上させました。

なお、利用人員は次のとおりです。

スクワール麴町(11月で運営終了)	120, 872名
フリースペース錦華(翌29年1月から運営開始)	6, 764名
麴町職員食堂(翌29年1月から運営開始)	3, 758名
消防学校食堂(翌29年3月から運営開始)	705期生～707期生 合計206名 中級幹部研修、救急救命士養成研等 合計649名
グリーンパル湯河原	11, 507名
那須山荘	2, 145名

注 利用人員:消防学校食堂は29年 3 月中に在籍した学生及び研修生の人員、消防学校食堂以外は延べ人員

(2) 販売事業

ア 売店販売及び出店販売

会員の業務執行及び職場生活の利便に資するため、本部庁舎及び消防学校の売店において防火防災関係図書・用品及び日用品等を販売しました。

また、東京消防出初式、消防技術安全所一般公開、消防学校実科査閲等の各種行事を捉えて出店し東京消防庁のイメージアップ等を図るため消防グッズ等を販売しました。

イ 指定店紹介及び斡旋販売

会員の豊かな家庭生活を支援するため、会員割引で各種商品・サービスの提供を行う指定店の紹介及び会員特別価格による各種商品の斡旋販売を行いました。特に住宅の斡旋については会員が十分な情報を効率的に得られるよう、東京消防信用組合の協力を得て住宅関連業者11社合同による住宅相談会(年度内4回)を開催しました。

また、指定店紹介及び斡旋販売を効果的に行うため、ライフサポートガイド「2016指定店のしおり」、福利厚生ニュース(8月を除く毎月発行)を全会員に配付しました。

なお、今年度から一般社団法人東京都消防協会が賛助会員となったことから、その構成員である都内の消防団員にも隔年(西暦の偶数年)で同ガイドを配布することになりました。

さらに、指定店の拡大にも努め、今年度は16の事業者を新たに指定店として登録し、その数は平成28年度末で241となりました。

(3) 団体保険事業

会員及び家族の病気や怪我等に伴う思わぬ出費、さらに万が一への備えをサポートするため団体保険事業を行いました。今年度の定期募集において新たに団体生命保険のオプションとして日帰り入院にも対応できる短期入院支援金を加え、翌29年1月からは同支援金の給付が開始されています。

なお、定期募集及び消防学校入校生募集による今年度の新規加入者及び更新者の数は次のとおりです。

	定期募集	消防学校入校生募集
新グループ保険	11, 170 名	852 名
積立年金保険	7, 598 名	263 名
傷害保険	15, 229 名	852 名

(4) 共助事業

ア 育英事業

新たに会員及びその家族30名に対し、無利子による奨学金の貸し付けを行いました。なお、今年度末現在、240名の会員が貸付を受けています。

イ 慶弔援護事業

会員及び家族に対する弔慰金、災害見舞金、傷病見舞金、永年勤続賞受賞祝品、結婚祝品及び退会せん別金を贈呈しました。

なお、贈呈の内訳は次のとおりです。

弔慰金	24名	災害及び傷病見舞金	51名
永年勤続賞受賞祝品	513名	結婚祝品	632名
退会せん別金	981名		

ウ スポーツ・文化施設等利用支援事業

会員及び家族がスポーツ・文化施設等を利用する際に要した費用の一部を、延べ1, 208名の方に支援しました。

また、会員及び家族が東京ディズニーリゾートを利用する際に要した費用の一部を、延べ18, 436名の方に支援しました。

エ 夏季契約施設提供事業

25年度末をもって廃止した下田荘事業の代替えとして、普通会员が夏季休暇期間中に協会が指定する宿泊施設又はスクワール特別企画(宿泊と食事のセット企画)を利用した場合、会員本人一人一泊に限り、その宿泊代を補助したところ、218名の利用がありました。

オ 内科診療所事業

本部庁舎12階の内科診療所において、月、火、水曜日を診療日として一般都民を含めて延べ417名の方に対し内科診療、投薬及び血液検査のサービスを提供しました。また、10月から11月にかけて858名の方にインフルエンザ予防接種を行いました。

5 管理・運営事項

理事会及び評議員会を次表のとおり開催し、議案は事務局提案の内容で議決承認され、報告事項についても事務局説明内容で了承されました。

理事会	評議員会
<p>第1回通常理事会 日程 平成28年5月26日 議案 「平成27年度事業報告及び財務諸表」の件、「平成27年度公益目的支出計画実施報告書」の件、「平成28年度定時評議員会開催」の件</p>	<p>定時評議員会 日程 平成28年6月10日 議案 「平成27年度財務諸表」の件 報告 「平成27年度事業報告」の件、「平成27年度公益目的支出計画実施報告書」の件</p>
<p>第1回臨時理事会(決議の省略) 日程 平成28年7月1日 議案 「臨時評議員会招集」の件</p>	
<p>第2回臨時理事会 日程 平成28年8月10日 議案 「スクワール麴町3階多目的室運営事業への応募」の件</p>	<p>第1回臨時評議員会 日程 平成28年8月10日 議案 「スクワール麴町3階多目的室運営事業への応募」の件</p>
<p>第3回臨時理事会(決議の省略) 日程 平成28年9月29日 議案 「評議員・理事・監事候補者推薦」の件</p>	<p>第2回臨時評議員会(決議の省略) 日程 平成28年9月30日 議案 「評議員・理事・監事選任」の件</p>
<p>第4回臨時理事会(決議の省略) 日程 平成28年9月30日 議案 「代表理事選任」の件</p>	
<p>第5回臨時理事会(決議の省略) 日程 平成29年1月1日 議案 「事務所移転」の件</p>	
<p>第2回通常理事会 日程 平成29年3月24日 議案 「平成29年度事業計画及び収支予算」の件、「会員規程の一部改正」の件 報告 「平成29年度役員報酬」の件</p>	<p>第3回臨時評議員会 日程 平成29年3月24日 議案 「平成29年度役員報酬」の件、「会員規程の一部改正」の件 報告 「平成29年度事業計画及び収支予算」の件</p>